

第2次調査「災害時要援護者と避難支援者に関する事前調査」
の集計結果と今後の取り組みについて

1) 調査書配布と回収世帯数ならびに回収率 (世帯)

	3丁目東	3丁目西	4丁目	5丁目	6丁目	8丁目	9丁目	合計
配布世帯数	473	393	401	193	305	133	416	2,314
回収世帯数	392	298	181	160	244	95	249	1,619
回収率 (%)	82.8	75.8	70	82.9	80	71.4	59.8	69.9

2) 災害時に避難支援者の手助けなどを希望したいと思う方の人数 (人)

	3丁目東	3丁目西	4丁目	5丁目	6丁目	8丁目	9丁目	合計
男性	32	26	28	15	27	15	28	171
女性	67	35	43	33	47	19	59	303
合計	99	61	71	48	74	34	86	474

3) 災害時の避難支援に協力しますとお答えになられた方の人数 (人)

	3丁目東	3丁目西	4丁目	5丁目	6丁目	8丁目	9丁目	合計
男性	125	98	96	60	94	37	75	585
女性	103	69	96	39	80	37	72	496
合計	228	167	192	99	174	74	147	1,081

※ 災害時避難支援に協力できると思われる項目 (一つだけ選ぶ)

	3丁目東	3丁目西	4丁目	5丁目	6丁目	8丁目	9丁目	合計
日常の見守り	40	37	38	27	32	15	22	211
避難警報の伝達	69	45	46	20	56	16	45	297
安否確認	54	41	36	15	49	15	34	244
避難誘導	45	33	37	28	38	14	31	226
その他	16	8	13	1	1	18	6	63
合計	224	164	170	91	176	78	138	1,041

昨年末に実施した第1次調査に続き、本年7月の第2次調査「災害時における要援護者と避難支援者に関する事前調査」の集計結果は上記のとおりでした。

第1次の調査票回収率が約78%、今回が約70%で回収率は前回より若干下りましたが、回答票からはこの取り組みに対する皆さまの真摯な気持ちが伝わってきました。

今回は、住所、氏名、電話番号などをご記入頂き、「災害時に避難支援者の手助けを希望したい」と思う方と

「災害時の避難支援に協力します」とお答えになった方がどなたであるかを具体的に把握し、次のステップ(チーム作りなど)に進めるための調査でした。

「災害時に避難支援者の手助けを希望したい」と答えられた方の総数474名に対して、「災害時の避難支援に協力します」と回答された方の総数は1,081名でした。単純に計算すれば、1人の「手助け希望者」に対し2.3人の「支援協力者」ということとなります。昨今頻発する国内外の災害が、いつ私たちの周辺に起きるかもしれないという皆様の強い関心と、自分が出来得る何かを、近隣の災害弱者のために役立たせたいとの思いが伝わり、大変心強い思いがしました。

10/27日の当災害対策委員会の会議では、8月9日の佐用町に代表される大水害以降、行政でも見直しが提議されている避難所などへの移行判断など、これまでの災害時の行動などについての問題提起がありました。また、災害時には地域すべての住民が平等に被災者となり、混乱するであろう状況の中で、実際にどのような支援が出来るのかが話し合われました。今後取り組んでいく上で、冷静に考えていかなければならないところです。

町会としては、より細やかな思考と、「災害時に手助けを希望したいと思う方」と「災害時の避難支援に協力します」とお答えになった方の立場を重んじた計画を立て、『災害時にひとりの犠牲者をも出さない町づくり』という目標にむかって、一歩ずつ、この取り組みを進めていきたいと思っております。

災害対策委員会